

## (4月17日)：投資家心理の悪化により株価は下落

投資家はさらなる下落に備えて、株式を減らしたため、ベトナム株式は2営業日続けての下落になった。

ホーチミン取引所のVN指数は0.52%下落し972.10ポイントで取引を終えた。

ハノイ取引所のHNX指数は0.64%下落し106.43ポイントで取引を終えた。

前日も両指数は1%弱下落していた。

いくつかの銘柄がストップ安まで下落したため、投資家心理を悪化させることになった。

ホアセングループ (HSG)、ソ ندا都市投資開発 (SJS)、アンファット・プラスチックグリーン環境 (AAA)、第16リコジ建設などが大きく値下がりをした。

ビンググループ関連のビンググループ (VIC)、ビンコムリテール (VRE)、ビンホームズ (VHM) は1.2%から2.7%下落した。

その他の大型銘柄では、ビナミルク (VNM)、ベトナム産業貿易商業銀行 (CTG)、エクシムバンク (EIB)、サコムバンク (STB)、コテコンズ建設 (CTD) は値下がりしたが、ベトコムバンク (VCB)、テクコムバンク (TCB)、サイゴンビールアルコール飲料総公社 (SAB)、モバイルワールドインベストメント (MWG)、FPTグループ (FPT) は上昇した。

石油ガスセクターは水曜日に下落したが、ペトロベトナムガス (GAS) は上昇し市場の下落をやわらげた。

南北両取引所合わせて、出来高は2億2720万株、売買代金は4.9兆ドン (2億900万ドル) でそれぞれ29.5%、35.3%増加した。

国内投資家の動きとは反対に、外国人投資家はベトナム株の物色を続けた。外国人投資家は2000億ドンを買越し、2営業日の買い越し高は4000億ドンに達した。

外国人投資家はマッサングループ、GAS、VIC、VHM、VCBなどを買越しした。

BIDV 証券によると、市場は調整中で出来高が増加してきている。しかしそれほど多くはないため、投資家の警戒感を表している。

ベトナムはアジアの中でも例外で、ベトナム株式市場は直近大きく上昇してきた。投資家は世界のマクロ経済の状況、特に米中貿易摩擦について注視することを勧めると同社はデイリーレポートで報じた。

“市場は反発をするかもしれない”とバオベト証券のアナリストは語ったが、セクターによって大きく明暗が分かれ続けるかもしれないとのことだった。

縫製、水産、情報などの上昇している銘柄と石油ガス、銀行などの抵抗線に近づいている銘柄は反発することが期待できると VNS は語った。

---

## ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Incorporated (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。